



2026年5月22日

自動車等向け高品質再生プラスチックの安定供給に向け、
「関東圏における再生プラスチック集約拠点」の実装を目指すフィージビリティスタディを開始
— 環境省「自動車等向け再生プラスチック安定供給体制の構築のためのFS事業」に採択—

三菱ケミカル株式会社
高俊興業株式会社
東港金属株式会社
リファインバース株式会社
三菱電機株式会社
株式会社 digglue
日本ポリプロ株式会社
株式会社ロンビック
協力会社：トヨタ自動車株式会社 (Domatics)

三菱ケミカル株式会社（代表取締役社長：筑本学 本社：東京都千代田区）、高俊興業株式会社（代表取締役社長：高橋潤 本社：東京都中野区）、東港金属株式会社（代表取締役：福田隆 本社：東京都大田区）、リファインバース株式会社（代表取締役社長：越智晶 本社：東京都千代田区）、三菱電機株式会社（代表執行役 執行役社長：漆間啓 本社：東京都千代田区）、株式会社 digglue（代表取締役：原英之・中谷元 本社：東京都新宿区）、日本ポリプロ株式会社（代表取締役社長：飯島要 本社：東京都千代田区）、株式会社ロンビック（代表取締役社長：市川直樹 本社：三重県四日市市）、および協力会社として参画するトヨタ自動車株式会社 (Domatics) の9社は、自動車等向けに利用可能な高品質再生プラスチックの安定供給体制の構築を目指し、使用済みプラスチックの回収・選別・再生原料化・再生プラスチックの材料設計・トレーサビリティを一体的に検証するフィージビリティスタディ（実現可能性調査、以下、「FS」）を開始します。本FSは環境省が実施する「令和7年度補正予算 自動車等向け再生プラスチック安定供給体制の構築のためのFS事業」に採択されたものです。

近年、自動車分野では欧州を中心に再生材利用の規制強化が進んでおり、高品質な再生材の安定供給体制の構築が求められています。一方で、日本においてはまだそのような体制が整っておらず、自動車製造において再生プラスチックの活用はほとんど行われていません。そこで9社は、デジタル技術・AIを活用して使用済みプラスチックの高度選別やトレーサビリティ確保を実現する「再生プラスチック集約拠点」を構築し、選別されたプラスチックを余すことなく再資源化し、高品質な再生プラスチックを供給する事業モデルの確立を目指します。本FSでは、その初期検証として各社で連携して実現可能性調査を行います。

本 FS の概要

2027年2月までの期間で、以下を行います。

- (1) 使用済みプラスチックの高度選別工程におけるデジタル技術/AIの導入コンセプトの具体化
- (2) 自動車向け要求品質を満たすマテリアルリサイクル材の利用可能性調査
- (3) マテリアルリサイクルに適さない使用済みプラスチックのケミカルリサイクルでの利用可能性調査
- (4) トレーサビリティ確保のためのデータ連携要件整理
- (5) 経済合理性の評価や再生プラスチック供給量拡大効果の推計
- (6) 段階的導入に向けた実装ロードマップ作成

本 FS の特徴

1. 動静脈連携による一体型サプライチェーン

本事業では、使用済みプラスチックの回収・選別を担う静脈側事業者と、材料設計・コンパウンド※・需要家への提供を担う動脈側事業者が連携します。これにより、再生材の品質、量、コスト、由来証明を一体的に検討します。

※コンパウンド：プラスチックにフィラー等の材料、着色剤、添加剤などを混ぜあわせて、新たな機能を持つプラスチックへ加工すること

2. 高度選別と材料設計の組み合わせ

使用済みプラスチックの高度選別技術と、再生プラスチックの材料設計技術を組み合わせることで、自動車等で要求される高い品質に対応する再生材の開発を進めます。

3. マテリアルリサイクルとケミカルリサイクルの最適活用

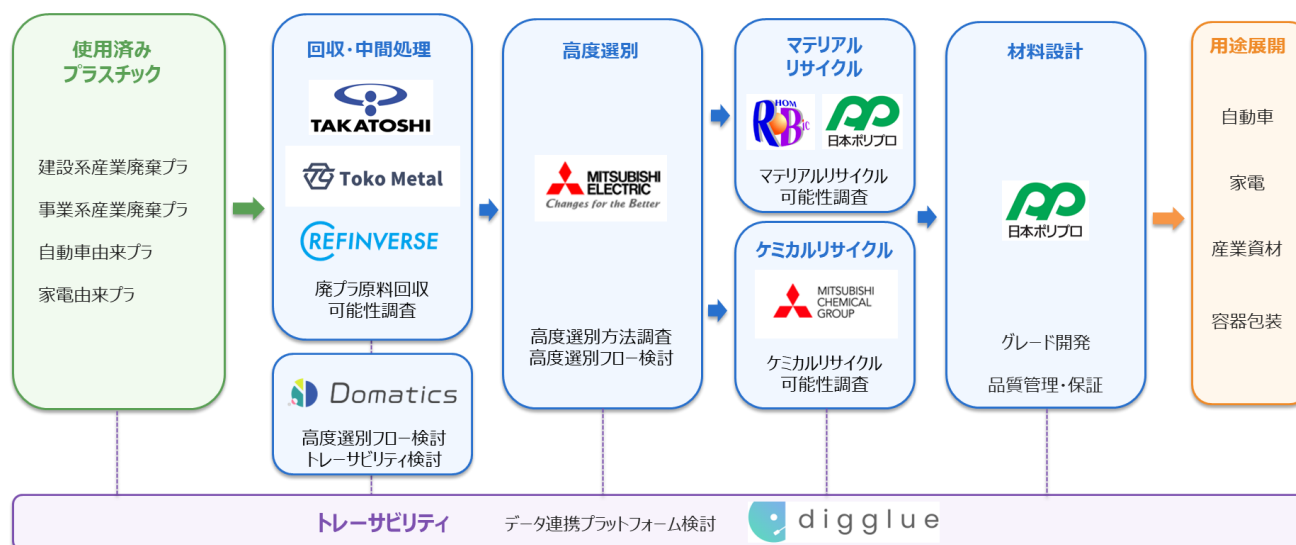
マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルのそれぞれに適する原料の振り分け（グレーディング）を行うことで、使用済みプラスチック全体の資源価値を最大化するモデルを検討します。

4. トレーサビリティによる信頼性向上

トレーサビリティ基盤を活用し、原料由来、選別・再生原料化工程、再生材含有率、環境価値等の可視化を進めます。これにより、需要家が安心して使用できる再生プラスチック供給体制の構築を目指します。

各社の主な役割

	会社	役割
代表者	三菱ケミカル	全体統括、ケミカルリサイクル可能性調査
連携 団体	高俊興業	廃プラ原料回収可能性調査
	東港金属	
	リファインバース	
	三菱電機	高度選別方法調査、高度選別フロー検討、トレーサビリティ検討
	digglue	トレーサビリティ検討
	日本ポリプロ	マテリアルリサイクル可能性調査、高度選別フロー検討、トレーサビリティ検討
	ロンビック	マテリアルリサイクル可能性調査、樹脂分析方法調査
協力会社	トヨタ自動車 (Domotics)	高度選別フロー検討、トレーサビリティ検討



今後の展開

本 FS を通じて、各社は自動車等向け再生プラスチック集約拠点の実装に向けた課題を抽出し、原料調達、品質管理、選別・再生原料化、需要家評価、トレーサビリティ、事業採算性について検証します。

また、本 FS 終了後には、実証事業または事業化フェーズへの移行を視野に、多様な使用済みプラスチックを原料とする高品質再生材を幅広い用途に供給するための体制構築を進めていく予定です。

ご参考

環境省 報道資料： 令和7年度補正予算 自動車等向け再生プラスチック安定供給体制の構築のためのFS事業の公募について

https://www.env.go.jp/press/press_03029.html

環境省 報道資料： 令和7年度補正予算 自動車等向け再生プラスチック安定供給体制の構築のためのFS事業の採択結果について

https://www.env.go.jp/press/press_04461.html

本件に関するお問い合わせ先

高俊興業株式会社 業務支援本部 西田

TEL：03-3389-8172 お問い合わせフォーム：<https://takatoshi.co.jp/contact/>

東港金属株式会社 広報担当 山下

Email：media@cyclers.co.jp

株式会社リファインバースグループ 経営企画部 広報担当 西川

Email：pr@r-inverse.com

三菱電機株式会社 広報部

TEL：03-3218-2332 お問い合わせフォーム：<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/contact.html>

三菱ケミカル株式会社 コーポレートコミュニケーション部 メディアリレーショングループ

TEL：03-6748-7140 お問い合わせフォーム：<https://www.mcgc.com/contact/index.html>

株式会社 digglue マーケティング・広報 藤本

TEL：03-5817-4275 お問い合わせフォーム：<https://digglue.com/contact>

株式会社ロンビック CE推進プロジェクト 田中

<https://www.rhombic.co.jp>

日本ポリプロ株式会社 企画管理部 企画グループ 高野

Email：junichi.takano.mw@mcgc.com お問い合わせフォーム：<https://www.j-polypropylene.com/contact/>

トヨタ自動車株式会社 (Domatics)

お問い合わせフォーム：<https://www.toyota.co.jp/wish/>